



令和7年8月25日(月) 発表

NUMAZU CITY PRESS RELEASE

沼津市 報道取材情報

## ～わたしの主張 2025 静岡県大会 in 御前崎市～ 沼津市からの出場生徒2名が最優秀賞・優秀賞を受賞!

### 要 旨

8月21日(木)、「わたしの主張 2025 静岡県大会」が御前崎市民会館で開催されました。県内138校、9,391名の応募から事前審査で選ばれた13名の中学生が、日常生活の中での経験や考えていることを自らの言葉で発表しました。

沼津市からは2名が出場し、最優秀賞及び共感賞、優秀賞をそれぞれ受賞しました。

### 概 要

#### 1 大会結果

最優秀賞:沼津市立片浜中学校3年 加藤蒼士さん

『人間になった僕ができること』

※中学生審査員により選考される共感賞も同時受賞

優 秀 賞:沼津市立愛鷹中学校3年 金田ゆなさん

『向き合って見える世界』



#### 2 過去の県大会出場者

R5	最優秀賞:沼津市立長井崎小中一貫学校 9年 大城柚稀さん 優 秀 賞:沼津市立片浜中学校 3年 杉山奈生さん
R6	優 秀 賞:沼津市立長井崎小中一貫学校 9年 日吉愛海さん 優 良 賞:沼津市立浮島中学校 3年 野崎 愛花さん 優 良 賞:沼津市立沼津高等学校中等部 3年 飯田彩花さん

### お問い合わせ先

沼津市役所 教育委員会事務局 生涯学習課

直通:055-934-4871



Proud NUMA7U

### 3 静岡県大会概要

名称:わたしの主張 2025 静岡県大会 in 御前崎市

日時:令和7年8月21日 12時40分から16時まで

場所:御前崎市民会館

主催:静岡県教育委員会・静岡県青少年育成会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構

共催:御前崎市教育委員会

※発表内容は別紙をご参照ください。

### 4 沼津市大会

沼津市大会は令和7年6月7日に沼津市民文化センターにて開催され、市内の中学校19校の代表者が発表しました。

発表者・題名・大会動画等はこちらから

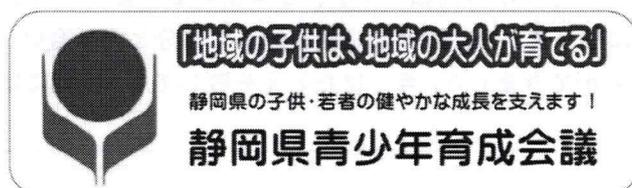
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kyoiku/seisho/kenzen/watashino.htm>

### 5 全国大会

静岡県大会最優秀賞に選ばれた加藤蒼士さんは、令和7年11月16日に東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催される「第47回少年の主張全国大会～わたしの主張2025」の関東・甲信越静岡ブロック代表（ブロック内の選出は3名）候補者として推薦されます。

わたしの主張2025静岡県大会 出場者・主張発表要旨 発表順、敬称略

	題 名	学 校	氏 名
1	私を作るもの	静岡県西遠女子学園中学校 3年	山下 ラリサ
	<p>15歳の私を作るものはバレー部キャプテンとしての私と、ブラジルに祖先をもつことを誇りに思えるよう育ててくれた家族の一員としての私です。今後キャプテンとして身につけたリーダーシップを活かし、2つの文化の懸け橋となるようなシチズンシップをもって生きていきたいと 思います。</p>		
2	向き合っている世界	沼津市立愛鷹中学校 3年	金田 ゆな
	<p>障がいを持った姉と過ごす中で、私は偏見に満ちた態度や言葉がけに出会うことができました。しかし、果たしてその人たちの見た姉の姿は、本当の姿でしょうか。もし障がいを持っている方と接する機会があったら、ぜひその人と向き合い知ろうとすることが大切だと私は考えま す。</p>		
3	地域と自分	浜松市立佐久間中学校 3年	樽松 里哉
	<p>過疎化が止まらない天竜区佐久間町。そんな田舎で、中学生の自分ができることは何なのか。地域の伝統芸能である「川合花の舞」、地域のために尽くしてくれる「3人のおじさん」を通して 考えました。地域への感謝の気持ち、地域への愛を持ち続ける、そんな人間でありたいと私は 思っています。</p>		
4	食わず嫌いをやめて	三島市立中郷中学校 3年	石渡 葉奈
	<p>恩師の先生の言葉に納得できない私は「食わず嫌い」をやめ「らしくない選択」をしたことで、 言葉の真意を見つけることができました。もし皆さんが今、解決できない迷いや不安、疑問や不 満を感じていたら、自分らしくない選択をしてみませんか？答えを見つける鍵になるかもしれま せん。</p>		
5	脱マスクの時代で	静岡市立豊田中学校 3年	一杉 奈緒
	<p>新型コロナウイルス感染症の流行から、約5年が経ちました。コロナ禍では当たり前だった「マ スクの着用」が、コロナが収束した今は、コンプレックスを隠す手段として使われているように 感じます。脱マスクの時代、ありのままの自分との向き合い方を考えました。</p>		
6	戦争のない世界へ	静岡県立中央特別支援学校 中学部 3年	若林 純那
	<p>今も世界のどこかで戦争が起きています。友達を病気で亡くしたり、自分自身、手足に麻痺が あったりする私にとって、戦争で命や体の一部を失ってしまうのはとても悲しいことです。そん な戦争を無くすためには、人々が思いやりの心をもつことが大切だと考えています。</p>		



	題 名	学 校	氏 名
7	真のコミュニケーション	静岡大学教育学部附属 浜松中学校 3年	徳永 梨良
	<p>翻訳アプリが活躍する時代。普段何気なく使っている私たちですが、海外での体験学習を通して、一つの疑問が浮かびました。「翻訳アプリって、本当のコミュニケーションなの？」先の見えない現代だからこそ、自分の言葉で、想いで「真のコミュニケーション」をとることが大切なのです。</p>		
8	「私たちに託されたもの」	御前崎市立浜岡中学校 3年	伊藤 亜姫
	<p>普段の何気ない挨拶や、過ぎていく四季のうつり変わりなど目に見えなくても美しいものが日本にはたくさんあります。そのような日本で生まれ育った私達は恵まれた環境に感謝し、もっと日本を良くしようと心掛け、日本人として誇りをもって生きていくことが必要ではないかと思えます。</p>		
9	伝えたい思い	清水町立清水中学校 3年	坂部 いろ花
	<p>もし、時間を巻き戻せるとしたら。そう考えたとき、浮かんできたのは祖母の笑顔でした。世界に別れがあると知らなかったあの頃、まだ幼かった私は、祖母との距離感を縮められずにいました。祖母の日記を捲るなかで蘇る思い出。私の生き方を変えてくれた祖母と、周りの人への感謝を伝えます。</p>		
10	マスクとわたし	磐田市立豊田中学校 3年	山下 ひなた
	<p>コロナ禍から始まったマスク着用。私は、今もなお家を出るときマスクを付けています。マスクは、私にとって自分を守ってくれる鎧のようなものでいつのまにかなくてはならない存在となっていました。そんな私は、紙切れ一枚のマスクとの付き合い方を考えました。</p>		
11	中学生である今、 私達に求められていること	静岡市立服織中学校 3年	芦沢 真央
	<p>今、私たち中学生には、自分で考えて判断することが求められています。それはなぜでしょうか。私は、これから何が起こるか分からない将来に向けて、「将来を生きていく力」をつけるためだと思います。自己判断や相手への思いやりを大切に、この力を育てていきたいです。</p>		
12	人間になった僕ができること	沼津市立片浜中学校 3年	加藤 蒼士
	<p>患者さんの身体を治すのは、ベルトコンベアのような診察でもAIでもできるでしょう。しかし、患者さんの心までも治すのは、人にしかできません。僕は感情を持った人間の、愛情ある医師の言葉に救われました。次は、僕が言葉の処方箋を出してあげたいのです。そこに愛はあるのだと信じて。</p>		
13	挑戦を恐れない	吉田町立吉田中学校 3年	堀川 莉花
	<p>失敗が怖くて挑戦できなかった私ですが、小学生の運動会をきっかけに自分を変えたいと思い、挑戦するようになりました。様々な経験を通して自分と向き合い、努力を重ねる中で自信や強みを見つけることができました。今ではたとえ失敗しても、挑戦には意味があると私は信じています。</p>		